

町政功勞表彰

6月29日(木)、町医として16年間、保健医療事業の向上に多大な貢献を讃え、町長室において表彰式が行われました。

(写真左から、中央は町長)

麦原匡史(野木病院)

岩崎裕子(岩崎医院)(敬称略)



善行表彰

6月26日(月)、友愛記念病院の加藤院長、奥村統括部長が来庁され、町長から表彰状が手渡されました。

この表彰は、友愛記念病院を運営する茨城県民生活協働組合様より、軽自動車、防護服、デジタル体重計等、計150万円相当の物品をご寄付いただき、行政サービスの推進と住民福祉の向上に貢献されたことによるものです。



野木町環境美化功績者表彰

6月19日(月)、20年の長きにわたり町内全域の美化・清掃活動及び不法投棄監視に尽力したため、野木町不法投棄監視員4名の方が表彰されました。

今回表彰されたのは、次の方々です。

(写真左から、3番目は町長)

柿沼澄男、柿沼榮進、須田和義、

当日欠席：針谷徳一(敬称略)



小・中学生に葉書がプレゼントされました

7月に野木ライオンズクラブ国際協会の木村光男会長より、町内の小中学校の児童生徒全員に官製はがき(かもメール)が贈られました。

今回で8回目になり、子どもたちはお世話になった方へ暑中お見舞いを書いたり、離れて暮らす祖父母に手紙を書いたりしました。

心に残るプレゼントをいただき、大変ありがとうございました。



中学生の代表が 広島平和記念式典に参加しました

8月6日(日)に広島市で開催された広島平和記念式典に、野木中学校、野木第二中学校2年生の生徒代表が小山市と結城市の代表と共に参加し、平和への思いを深くして帰町しました。

詳しい報告は10月号でお知らせいたします。



野木町協働のまちづくり支援事業 緑蔭読書サロンを開きました

7月9日（日）、午後2時から町立図書館前庭の芝生の上で、涼風を受けながら、「お気に入りの絵本」の話し合いを楽しみました。

参加者13人が、幼いときに読んでもらった思い出、子や孫に読み聞かせたときの喜び、大人になって感じた味わいの深さなどを話し合いました。そして、幼児から高齢者までを引き付ける絵本の魅力や、おはなし絵本から心象絵本にわたる内容の広さと素晴らしさを理解しあうことができました。

次回の読書サロンは、9月10日（日）14時から図書館研修室で「自然」をテーマに開催します。皆さんで本のすばらしさを共有しましょう。

問 読書のまちづくり応援団 松澤 ☎090-7730-1966



ひまわり油を使ったカップケーキの給食を全小中学校で実施しました



おいしい給食を食べて、会話ははずみず

野木町の花「ひまわり」をアピールするとともに、郷土愛の醸成を図るために野木ブランドに認定された「ひまわり油」を使ったカップケーキを、社会福祉法人パステルが作成し、7月18日（火）、学校給食で提供されました。併せて地産地消を推進するために野木町産のトマトを使った「トマトぶっかけうどん」の給食を実施しました。

当日は、南赤塚小学校の3年生のクラスで、町長をはじめ、パステルの石橋様、トマトの生産者である針谷様、岡村様も、子どもたちと一緒に給食をいただきました。

町では、野木町の地産地消を進めるために、今後も、ひまわり油を使った給食を実施していきます。

野木町初となる地域おこし協力隊員が決定しました！



8月1日（火）、野木町で初となる地域おこし協力隊員の委嘱が行われました。委嘱されたのは東京都板橋区よりご応募いただいた加藤知子さん。加藤さんは今後町内に住民票を移し、町内唯一の農事組合法人のファームわか様のもとで農業従事を行いながら、町の農業の活性化に向けた取組を行っていただきます。

【地域おこし協力隊とは？】

三大都市圏から地方に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る。